

## 2026JR 総連春闘第3回交渉

**会社「昨年を確実に上回る金額とした上で、さらに前進を図るべく議論していく」**

中央本部は3月11日、2026JR総連春闘第3回団体交渉を行ない、会社は現時点の考え方を示しました。

### 【会社の考え】

- ・ 今年度、第3四半期までの鉄道事業は対前年102.2%だがコスト増により対前年6億の減。また関連事業では営業収益が対前年8億増となり、単体の経常利益は8,600万円となった。
- ・ 1～2月の雪害、北海道地区の農産物の育成不良、飲料メーカーへのサイバー攻撃などにより減送となり、3月6日時点の運輸収入は対1月計画で△22.5億円となり5期連続赤字が**確実**。
- ・ 2025年度の離職率は2.28%の見込み。メンター制度、初任給調整手当などにより、5年目までの離職率は減少、6～14年目の離職が増加傾向にある。キャリア形成などフォローしていく。
- ・ 貴組合の要求水準には満たないものの、単体決算において5期連続の経営赤字は**確実な状態**で厳しいが**物価高騰が続く中、賃上げが追い付いていないことなど主張を受けとめ**、回答指定日まで社長を含め経営陣と議論していく。

### 【青年部の主張】

- ・ 物価上昇の中、青年部員は節約しつつ厳しい生活を続けている。しっかり受け止めるべきだ！
- ・ 慢性的な要員不足の中、災害対応に尽力し安全・安定輸送を維持してきた。超勤や休日出勤など協力している中で、今26春闘への青年部員の期待は大きい！
- ・ 会社が示したベア実施について「昨年を確実に上回る金額とした上で、さらに前進を図るべく議論していく」とするならば、**満額回答を示すべきだ！**

物価上昇の中で節約を強いられ、慢性的な要員不足の中でも災害対応や安全輸送の維持に全力を尽くしてきました。超勤や休日出勤で現場を支えてきたのは、まさに青年部員です。だからこそ、26春闘に対する期待は非常に大きいものがあります。会社が「昨年を確実に上回るベア額を議論する」と言うのであれば、私たちとしては満額回答を強く求めていく必要があります。ここからはいよいよ「山場のたたかい」に突入します。青年部として、現場の声をしっかりと届け、生活改善と処遇改善を確実に前進させるために、引き続き団結して取り組んでいきましょう！！

**次回、回答指定日は3月18日です！！**